

令和4年
Vol.8

挑戦をやめない!!

県政報告書

なが や こう せい

岐阜県議会議員 長屋光征

ご挨拶

昨年の岐阜県議会において全国都道府県議長会より在職10年以上表彰をいただきました。

まずは県議会議員として活動をしてから10年以上活動できたのは多くの皆様のご支援があったからこそと感謝申し上げます。

コロナ禍の現代において、31歳で議員に当選させていただいて以来、若いからこそのご期待をいただく中で、自分なりに県政改革と議会改革を活動の中で進めてまいりました。すぐにでも改革できるもの、長期間かかるものと様々あり、自分の中でも考えさせられることも多々ありましたが、将来の岐阜県のため、また県民の皆様からお預かりしている大切な税金を適切に運用するためにも引き続き改革を進めていきたいと思えます。

また、私が県議会議員を志してから現在でも変わらず思っている皆様が当たり前だと思う政治と、皆様にわかりやすい政治を進めていくことを改めてお約束させていただきます。

今回の県政報告は、私が初当選から進めてきた政策や改革をまとめさせていただいたものになっておりますのでご一読いただければ幸いです。

改めて私の活動に深いご理解と、ご協力をいただいている皆様に感謝を申し上げるとともに『初心忘れるべからず』をモットーに県民の皆様のため、岐阜のために挑戦をあきらめず、頑張っておりますので、引き続きのご指導、ご協力をお願いしてご挨拶にかえさせていただきます。

県政をもっとわかりやすく!!

皆さんの思いがかたちにかわるように!



県議会議員在職10年以上表彰を受賞

10年間の実績 『登壇回数 33回 97項目 164点について』

防災



私が初当選した平成23年は東日本大震災発生直後であり、私は防災、減災対策を充実させることにより、県民の生命と財産を守る事を県政の重点課題にすべきと活動してまいりました。

各被災地にも直接足を運び、何が必要で何が課題であったのか、復興にはどのような事が重要なのかを聞くことで、平成24年には地域防災計画を見直すことにより、当初計画になかった防災無線の更新、平成28年には熊本地震を受けて、現場の声を聞いて県に提案した県立高校の体育館の避難所使用、また、平成30年には水害で被災した本県下呂市の高校生の提案を取入れ、スマートフォンで閲覧しにくかった県の防災サイトを改修して、誰もが県内の災害等の発生状況をわかりやすく閲覧できるようにいたしました。

また、岐阜市内の河川改修にも力を入れており、伊自良川等においては毎年安定した予算確保に努めてまいりました。

福祉



障がい児サッカー教室



福祉は国も地方自治体も大きな予算を配分している分野です。議員任期中に、私も福祉の分野に関わる多くの皆様と意見交換させていただくことにより、様々な施策に反映をさせていただくことができました。

平成25年には視覚障がい者団体の皆様からご要望があった白杖を利用したSOSシグナルの普及啓発、平成27年には聴覚障がい者団体の皆様からいただいた避難所において『目で聴くテレビ』の災害情報協定を結ばせていただくこと、また、平成28年には当時、東海、北陸地方で初となる、様々な障がいを抱えている皆様が、日々の生活で障がいを抱えていることを理解していただくためのヘルプマーク普及に取り組まさせていただきました。

また、議員提案として施行した「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」では、主要メンバーとして制定に関わらせていただきました。

医療



医療用ガウンの贈呈式に出席



新型コロナウイルス感染症の拡大で改めて医療従事者の皆様の大切さを感じると同時に、県土が広い本県において医師不足や看護師不足といった医療従事者の偏在化が課題となっております。このためオンライン診療の推進を進めることにより、中山間地域にお住まいで介護等が必要な方でも専門的な診察を受けられるように議会で取り上げてまいりました。

また、若手の看護師の皆様と毎年意見交換させていただくことにより、現場で働く看護師の皆様が求めておられる課題や、様々な事情で離職した看護師の皆様がどうしたら復職していただけるのかをお聞きし、看護師不足の解消や看護師の皆様のスキルアップに関わる制度の構築を議会で取り上げさせていただきました。

令和4年度の新年度予算では、訪問看護のオンライン診療のための支援補助金の大幅な拡充を進めていただくと同時に、この数年で潜在看護師と病院のマッチングを進めるナースステーションやスキルアップに関わる施設整備を県下各地で進めていただきました。



経済 観光

コロナ禍の中、令和2年度は県議会企画経済委員会委員長として、延べ7回、約1000億に及ぶ令和2年度補正予算や、令和3年度予算について審議をさせていただき、県内経済の再生や成長につながる施策の推進に努めてまいりました。

県土が広い本県においては、それぞれの地域の伝統的な地場産業から航空宇宙産業等の製造業まで、様々な産業を守りながら新たな産業の育成や成長を進めていく必要があります。起業を目指す皆様への支援や、企業誘致、サテライトオフィスの誘致等の議論も進めさせていただきました。

一方で裾野が広くコロナ禍で大きな打撃を受けている観光業や飲食業、関連産業の皆様への支援も進めつつ、それぞれの団体や企業の皆様の現場の声を聞きつつ、県行政にご要望を出させていただきました。

また、休業補償を受けることができないキッチンカー業界の皆様には、県庁で週1回のお弁当の販売をしていただくなどこれまで行われてこなかった取り組みをさせていただいています。



こども庁別設に向けて野田聖子大臣への要望活動



子育て 少子化

少子化が深刻化する中、岐阜県で子供を産み育てやすい環境を作るために、平成27年には議会で多子世帯支援を取り上げさせていただき、現在では、岐阜県において多子世帯に対して国の無償化の対象にならない第3子以降の児童にかかる保育料や副食費を無償化する補助や、病児・病後児保育の保育料の無償化を進める市町村に対する補助を拡充させていただきました。

さらに昨今全国的に発生している児童虐待については、重大な事案になる前にとの思いから令和元年には子ども相談センターの増員が含めた体制整備の質問をさせていただき、国の予算を活用し相談員の増員を図られたほか、令和4年4月からは県、県警、岐阜市、市教育委員会が虐待対応で連携協定を結び、ワンフロアに入所する全国初の取り組みである「こどもサポート総合センター」が開設します。

また、子どもたちに早い段階から将来の人生設計を考えたため県と教育委員会が連携しライフプラン教育を推進していただいているほか、家庭教育の重要性を考え議員提案として施行した「岐阜県家庭教育支援条例」には、主要メンバーとして制定に関わらせていただきました。



環境 動物愛護

現在、世界的に環境問題や、持続可能な社会への推進への関心が高まっており、私も身近な環境問題や社会全体として取り組まなければならない脱炭素社会に向けた県の方向性について議会で取り上げさせていただきました。

身近な環境問題では、昨今、清流長良川を含む本県の美しい河川において、自分達の出したゴミを河川に放置をしていく悪質な違反者が各地で発生していることについて議会で問題提起をし、啓発活動や通報先を明記した案内板の新設などを進めていただきました。また、将来的な脱炭素社会に向けては、環境基本計画に新たに2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現を明記いただくとともに、令和4年の新年度予算では脱炭素社会に向けて部局横断的に予算化させていただきました。

また、近年、動物の虐待や、多頭飼育崩壊が社会問題化していることから、令和2年の議会においてこの問題も取り上げ、本県の「動物愛護及び管理に関する条例」を改正していただき、多頭飼育の届出制度を追加をしていただきました。

同世代の農業を営んでいる皆様をはじめ、普段から農家の皆様と都市型農業の課題である生産緑地制度についてや、中山間地域の農業についてなど意見交換をさせていただいています。

議会ではその意見交換の中から出てきた県の制度改革について質問をさせていただいたり、農業と福祉の連携を推進する農福連携について質問させていただきました。質問後には若手の農業者の皆様と県行政の連携がさらに進み、農福連携については全県的に様々な活動をしていただいています。

さらに、食の台所でもあり、再整備計画が進んでいる岐阜市の中央卸売市場に対する県の支援のあり方について質問をさせていただき、知事からは岐阜市の計画が決定しだい予算措置を含めた連携を進めるとの答弁をいただきました。

また、議員提案として施行した「岐阜県花き振興に関する条例」では主要メンバーとして制定に関わらせていただきました。



農業

児童生徒がどの地域に住んでいても等しく良質な教育を受けることができる環境を整えるのも政治の責任だと考えています。また、昨今のロシアによるウクライナへの侵略を見ても、戦争の悲惨さを伝えるのと同時に、子どもたちに正しく我が国の領土や排他的経済水域の重要性を伝えていくことも我々の務めだと考えています。

平成31年度の教育警察委員長就任時には、学校現場のエアコン等の整備やICT化の予算措置をするとともに、学校現場で直接生徒の皆様から意見を聴く機会もつくり、生徒の皆様のお声を大切にさせていただきました。

また、このほかにも正しい日本地図を活用した教育の推進、国語教育の推進、和装教育の推進、遠隔教育の推進、私立高校への支援策などについて、議会で取り上げてまいりました。

さらに県内の県立高校の生徒の皆さんに県政の諸課題の解決策を考えていただき、県政に反映させるスーパーハイスクールセッションを教育委員会に毎年開催していただき、そこで出された解決策を県議会でも提案をさせていただいています。



教育

昨今、犯罪も多様化し、さらには新しい手口の犯罪が次々と発生をする時代となりました。

SNSを利用した犯罪から凶悪犯罪まで、県民の皆様が犯罪に巻き込まれないように、また、全国で多発する子どもを巻き込んだ交通事故対策に対しても任期中に議会で取り上げさせていただきました。

高度化する犯罪対策には、AI（人工知能）等を活用した犯罪捜査などを検討していただくチームを県警内に設置をしていただいたり、SNSを介した犯罪などの対策としては、県警内のサイバーパトロール等を拡充することによりできる限り迅速に犯罪を未然に防げるような対策にも力を入れていただいています。

また、交通事故防止対策として、県、県警、市町村の皆様と協力して、交差点などの危険箇所にはガードパイプなどの防護柵を設置していただいたり、小学校前に新規で信号機の設置などもしていただきました。

さらに交番襲撃事件等が発生するようになり、現場で県民の皆様のお安心安全を守っていただいている警察官の装備品などの拡充にも取り組まさせていただきました。



安全
安心

インフラ整備



東海環状岐阜IC周辺写真〈写真:岐阜国道事務所〉

道路整備は、日々の生活では買い物や通勤通学、経済では観光や産業における流通や工場、商業誘致、安心安全では災害時の避難ルートや緊急輸送道路、また、警察車両や救急車や消防車の運行にとって必要不可欠な事業です。

また、本県は地理的に日本の中心地にあり、県内外を結ぶアクセス道路として早期に整備することが重要です。

私の地元で進められている道路事業は東海環状西回り区間や、長良糸貫線を含むアクセス道路、国道21号線の高架化事業などがあります。国が関わる大きな事業では野田聖子衆議院議員をはじめとする国会議員の先生と連携して国の予算の確保に努めてまいりました。

また、住民の皆様から日々いただく道路の舗装等のご要望は即時に国、県、市に連絡して随時対応していただいています。

地元の皆様と一緒にご要望した事業では、岐阜大学北に新たな道路と橋が完成し、令和4年3月から供用が開始されます。

議会改革



県議会議員に初当選してから議会改革にも取り組んでまいりました。

議会運営や議会の規則は県民の皆様からわかりにくい点が多々ある中で、私自身も県議会議員になって初めて理解し、過去のルールのまま変わらない制度等が多くあることも知りました。

例えば、ほぼ全てを破棄することとなる資料を毎議会ごとに紙として多く配布することが当たり前になっていたり、規則の縛りによりコロナ禍において会議ひとつとってもオンラインでできないことがわかりました。

そのいくつかの諸課題も議会のICT化（タブレット端末等）を活用することで大幅な紙の削減や、緊急でもオンライン会議を開催する事ができます。

改革を進めるために、令和2年度には企画経済委員長としてオンライン会議に取り組んでみたり、情報端末導入調査検討委員会の副委員長として議会のICT化に取り組んでまいりました。

令和3年度からは委員会審議などでタブレットも導入されており、少しずつですが改革が前進しております。

県政改革



本県はここ数年、災害だけではなく鳥インフルエンザ、豚熱、新型コロナウイルス感染症と災害だけではなく、ウイルスとの闘いが続いています。その対応に最前線で頑張っていただいているのが県職員の皆様であります。

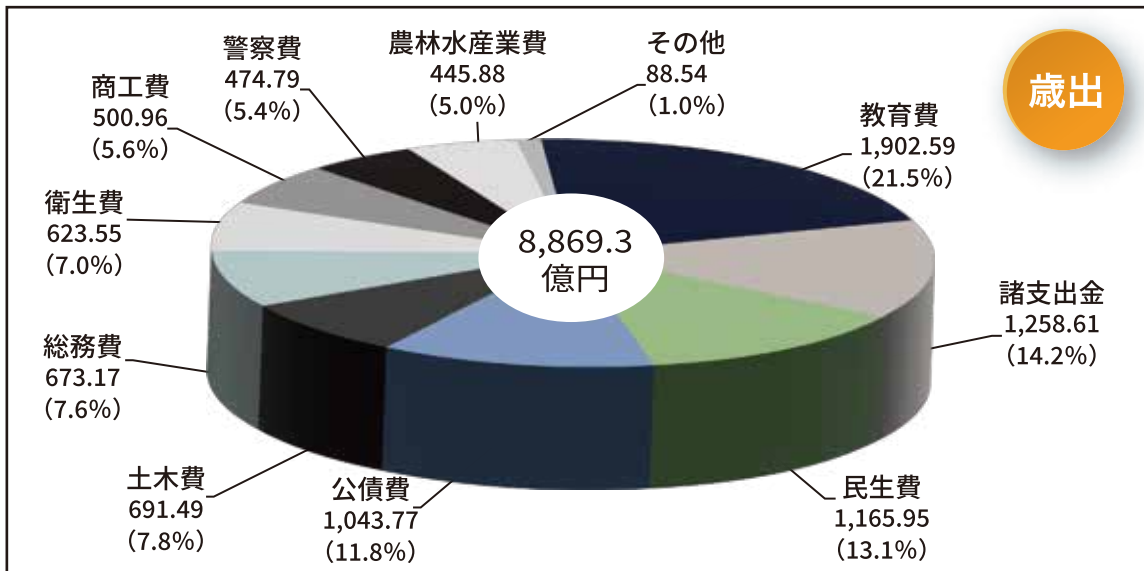
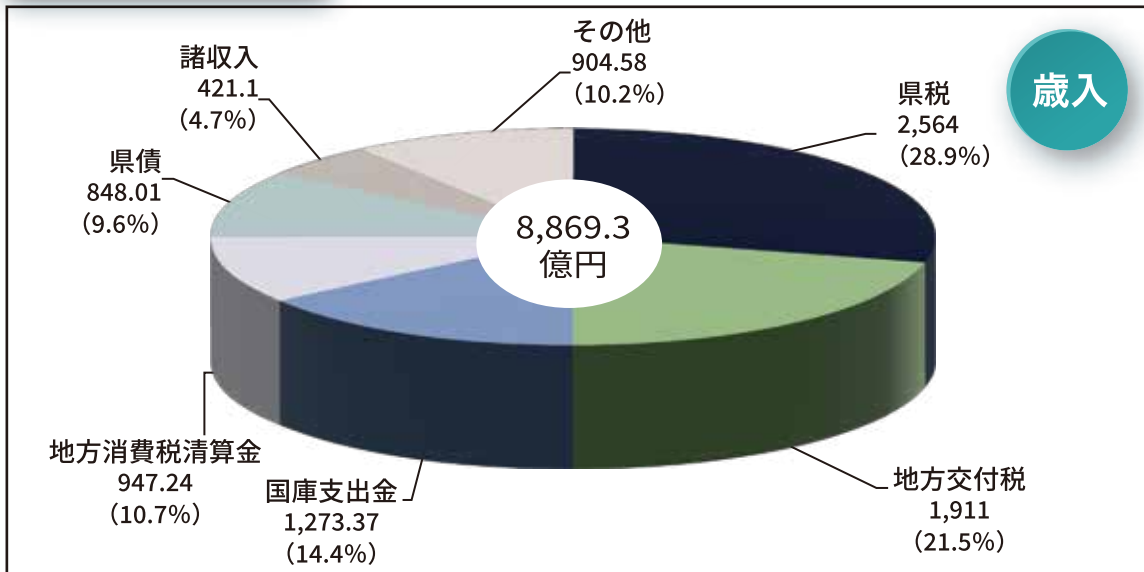
しかし、民間と行政組織では様々な制約から民間で簡単にできることが、行政組織ではできないことが多くあることも知りました。このため、令和元年度に就任した総務委員長時代には、ICT等を活用した業務の効率化を進めるために、遠距離通勤の職員や出張中の職員が勤務をする庁舎に行かなくても業務ができるように、サテライトオフィスの設置や、出張先でも庁内のシステムが利用できるパソコンや通信機器の整備に努めていただき、同時に紙などの削減も進めさせていただきました。

そして県民の皆様からお預かりしている税金を原資に会議ではタブレット等を活用して、業務の効率化を図っております。

一方で数年前に本県で発生したSNSを活用した職員の不適切事案においては問題を質すとともに、ソーシャルメディアの活用ガイドラインも改正もさせていただきました。

令和4年度当初予算案について（計数編）

予算の姿



(参考)

コロナ予算の内訳の比較

□ウィズ・コロナ対策 ■アフター・コロナ対策

